

平成21年度 事後評価実施箇所一覧表

番号	担当課名	県事業		事業採択年度	完了年度	全体事業費 (百万円)		事業名	路線名(地区名)	施工場所
		補助	県単			上段:当初	下段:最終			
1	農地整備課	○		H5	H18(繰)	1,233 2,208		県産農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	明倫南地区	恵那市明智町
12	道路建設課	○		S51	H19	26,053 36,089		道路改良事業	一般国道248号(太田ハイパス)	美濃加茂市御門町~関市西田原
8	森林整備課		○	H5	H19	2,890 2,378		ふるさと林道緊急整備事業	阿多箱~西濃	高山市(旧久々野町, 旧朝日村)
9	治山課	○		H10	H15	763 703		地域防災対策総合治山	右徹白地区	郡上市(旧白鳥町)
16	砂防課	○		S46	H15	1,208 1,577		公共地すべり対策事業	霧ヶ原地区	中津川市神坂
18	街路公園課	○		H15	H19	1,000 980		公共街路事業	教卓駅城田寺線外2路線	岐阜市吉野町

○* 記載にあつての置換点

① 「路線名(地区名)」には、ふりがなを明記すること。

② 「施工場所」は市町村名とする。なお、平成15年度以降に合併した市町村にあつては、旧市町村名を併せて明記すること。

平成 2 1 年度第 6 回岐阜県事業評価監視委員会

【農地整備課所管 事後評価審議資料】

○ 県営農林業用揮発油税財源身替農道整備事業

事後評価箇所表 . . . p. 1 9 ~

パワーポイント資料 . . . p. 2 2 ~

別紙平成21年度事後評価箇所表

番 号		事 業 名 (路線名等)	県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 明智南地区	
実施箇所	恵那市明智町 (旧明智町)	全体事業費	2,208百万円 (当割1,233百万円)	
採択年度	平成5年度	完了年度	平成18年度 (繰越)	
事業目的	<p>本地区は点在する団地間を結ぶ道路が未整備で、農畜産物及び生産資材等の円滑な輸送等に支障を来している。本事業により団地間及び農業用施設を合理的に結ぶ農道を整備し、農業生産の近代化を推進し、農業環境の改善を図る。</p> <p>また、沿線集落間の交流、通勤通学等の生活道路としての役割も担う。</p>			
事業概要	<p>農道新設改良 L = 5,001m 幅員5.0m [車道4.0m] 内 道路工 4,924m 橋梁工 77m (1橋)</p>			
概要図				

評価結果

①住民参加・協働による効果

事業着手前に「明智南農免期成同盟会」を立ち上げ、各集落の意見集約を図り、路線検討を行った。用地買収、補償物件関係についても、全面的な協力により円滑な推進が図られた。

また、残土処分地の選定にあたっては、地域住民の協力により建設付近地での処分が可能となり事業費の縮減に寄与した。

管理面において、農地沿いの除草、花飾り等、愛着を持って管理されている。

②事業効果

農産物輸送について、輸送距離、輸送時間の短縮、輸送車両の効率化が進んでいる。地域住民の通勤、通学等の生活道路として活用されているほか、災害時等における(主)瑞浪上矢作線の代替ルートとしての利用も期待されている。

道路の利用状況 <交通量調査：H21.10.27 7:00～19:00 12h>

・計画交通量：441台/日

・実測交通量：448台/日

計画交通量とほぼ同程度の利用量となっている。

③環境面への配慮

現場で発生する根株を、チップ化し法面保護に活用した。

切土法面の植生を、地山に復元する配合を選定した。

法面に間伐材を利用したウッドガードブロックを設置し、環境配慮、資源循環に寄与した。

④事業を巡る社会情勢の変化

平成15年度から町内でクリーン農業の登録面積が増え始めている。

農業婦人クラブの活動が盛んで、町内にあるおんさい工房の売上高が増加している。

本農道近隣の観光りんご農園(アゲチりんごパーク)では、名古屋市、豊田市など近隣の都市、さらには大阪、滋賀などからも春から秋まで、野外バーベキュー及び収穫などを通じ、都市との交流が図られている。

⑤利用者・地域住民等への効果

関係集落の農家、非農家を対象にアンケート調査を実施し、事業への意見の聞き取りを行った結果、農業への効果について約8割が「便利になった」と回答されている。

生活環境への効果としては、「自治区内の移動が便利になった」「買い物、お寺へいくのに便利になりありがたい」など約5割が「便利になった」と回答されている。

⑥対応方針

(今後の事業評価の必要性)

集落と農地等が結ばれたことにより、農作業及び農産物輸送において利便性が向上しており、また恵那市及び地域住民により適正に管理されている状況である。

アンケート結果においても住民満足度は高く、今後の事業評価は必要としない。

(改善措置の必要性)

特になし。

(新規事業への適用すべき留意点)

事業実施に当たっては、費用対効果を考慮しつつ、利用者の安全性・利便性を向上できる構造とする検討を行う。

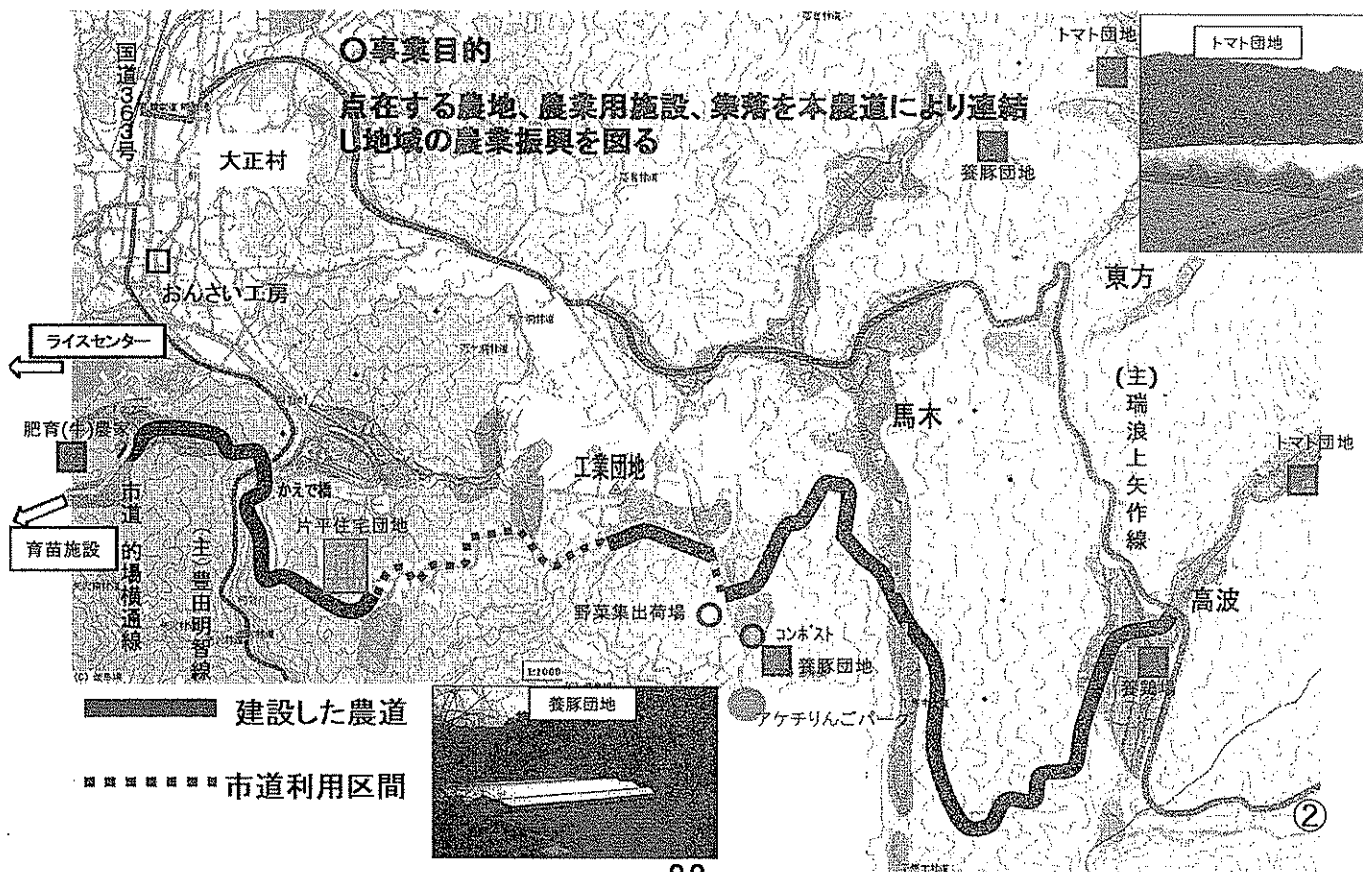
県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業

明智南地区の事後評価

岐阜県 農政部 農地整備課

①

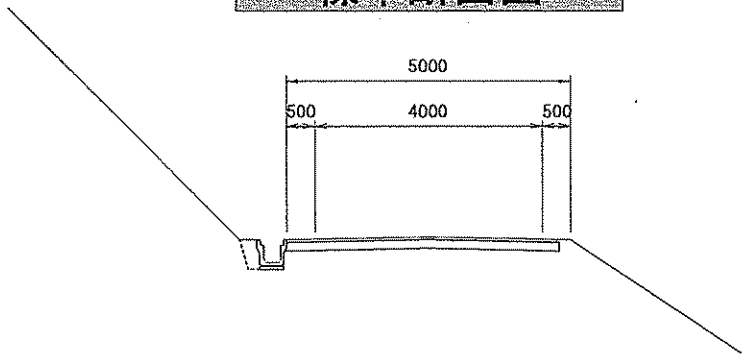
明智南地区 位置図



明智南地区の事業概要

総事業費	2,208百万円 (当初 1,233百万円)
受益面積	97ha (田50ha 畑33ha 樹園地等14ha)
農道延長	5.001m(うち橋梁77m)
幅員	5.0m [車道4.0m]
事業工期	平成5年度～平成18年度(繰越)

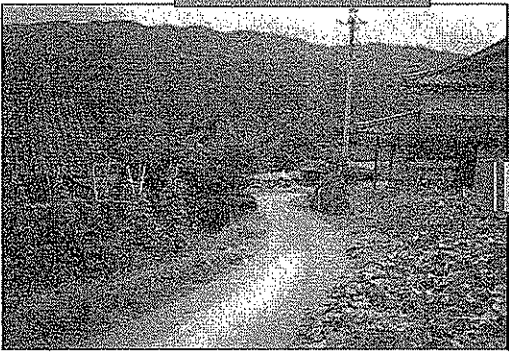
標準断面図



③

工事完成後の状況

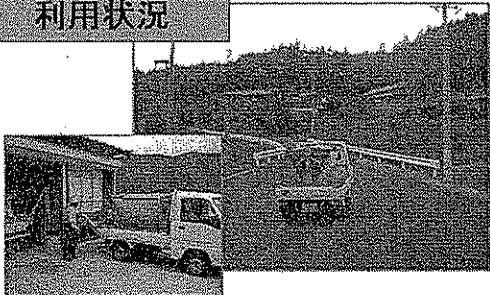
着手前



完成後



利用状況

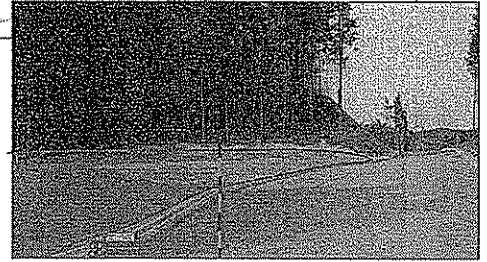
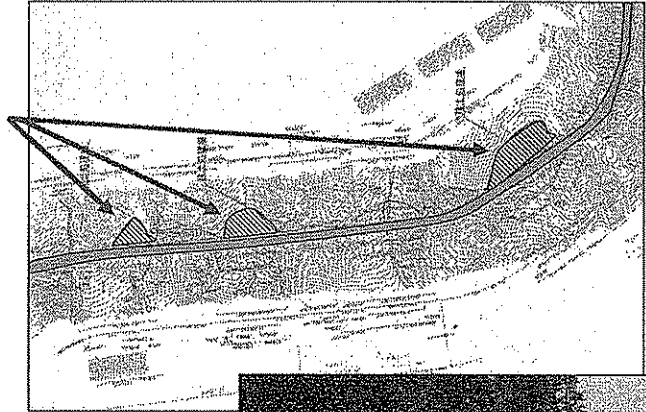


④

コスト縮減への取組

隣接地への残土処分
運土距離 4~9km
→ 0.1~0.5km

$61,000\text{m}^3 \times \Delta 1,866\text{円}/\text{m}^3$
 $\cong \Delta 114,000\text{千円}$



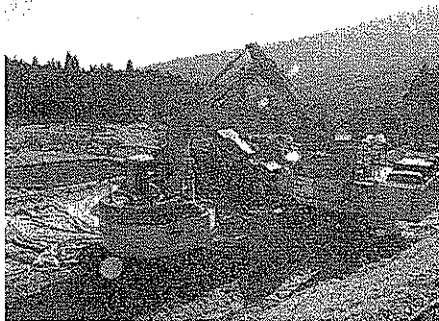
その他

- ・再生材利用 $\Delta 4,200\text{千円}$
- ・補強土壁面材の薄肉化 $\Delta 72,000\text{千円}$
- ・根株の吹付材利用 $\Delta 6,700\text{千円}$

⑤

環境面への配慮

現場発生材活用した吹付



法面保護、防草
地山への植生復元

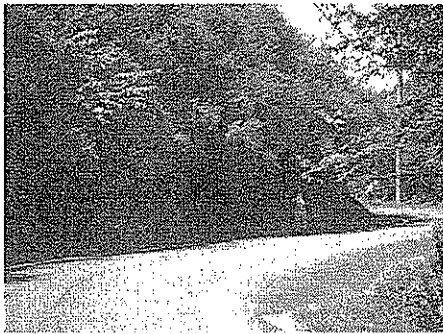
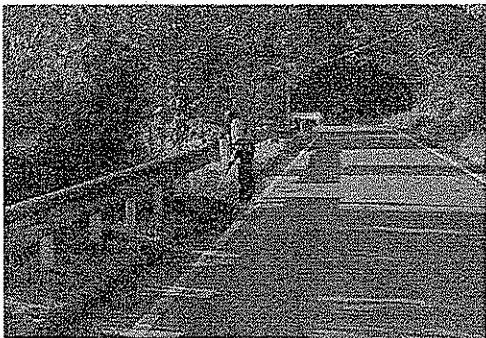


ウッドガードブロック
(間伐材利用)

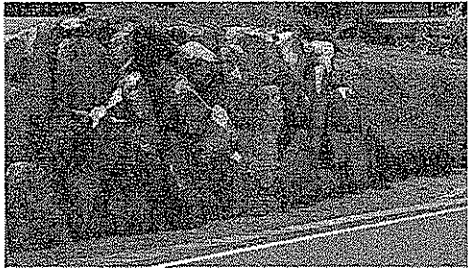
⑥

住民協働による維持管理

法面、路肩の草刈り



道路周辺の花飾り

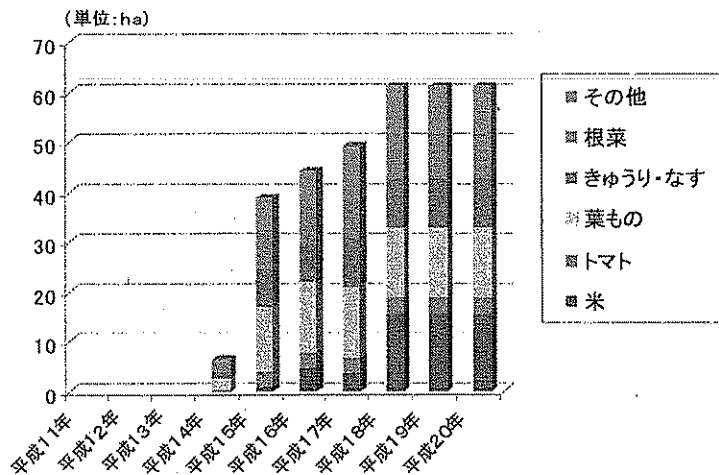


⑦

事業を巡る社会情勢等の変化

ぎふクリーン農業の推進

恵那市の合併 (H16.10.25)



⑧

費用対効果分析

■事業の効果

営農に係る走行経費節減効果等	効果全体の 97%
一般交通等経費節減効果	効果全体の 1%
その他効果	効果全体の 2%

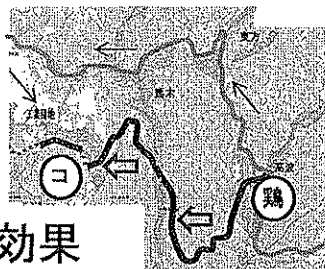
■投資的效果額

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.3$$

⑨

事業の効果

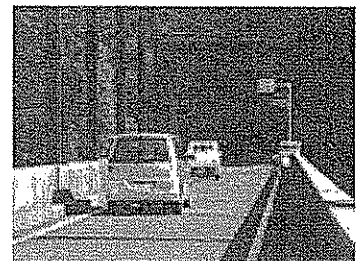
- 直接的効果
 - 輸送距離、輸送時間の短縮
 - 輸送車両の効率化



4. 8km → 3.3km
12分 → 7分



- 間接的效果
 - 生活道路としての利用
 - 災害時の代替ルート、緊急車両の利用

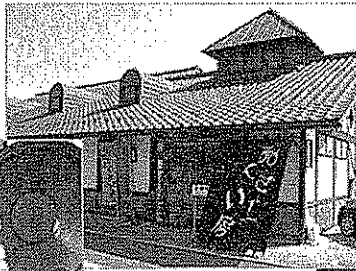


交通量	
交通量調査結果	448台/日
計画交通量	441台/日

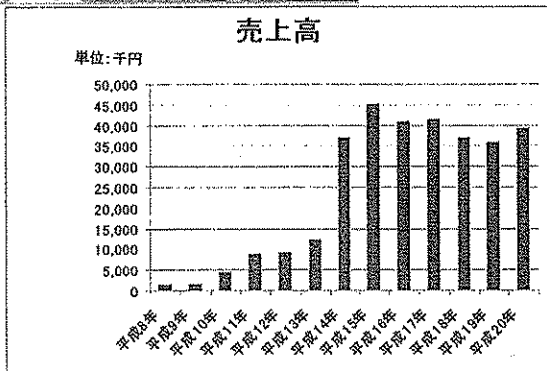
⑩

地域特産物の推進

おんさい工房



アケチりんごパーク
(観光りんご園)



⑪

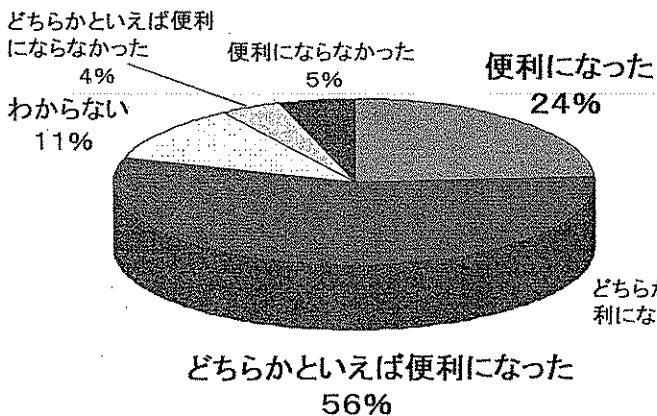
受益農家・地域住民への効果

アンケート結果: 受益11集落295戸配布

235戸(内農家121戸)回収 回収率約8割

農業への効果

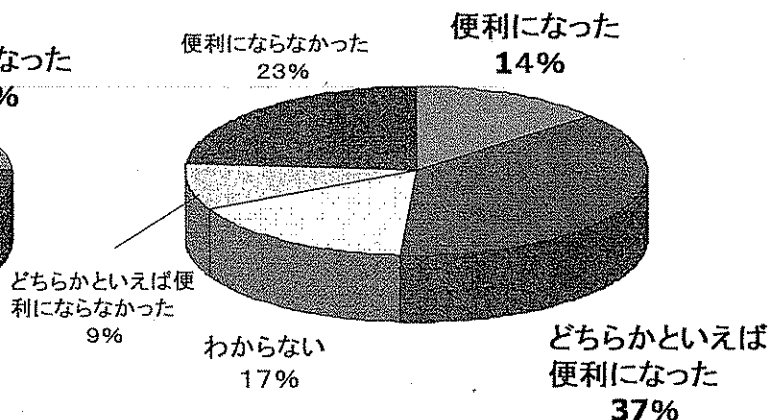
問. 農道の完成により、農産物の輸送や農業機械の通行は便利になりましたか？



約8割の農家が満足

日常生活への効果

問. 農道の完成により、通勤や買い物など便利になりましたか？



約5割の地域住民が満足

⑫

対応方針(案)

- ・農作業、農産物輸送等のみならず、農村地域の生活道路としても利用され、住民の満足度も高いため、今後の事業評価は必要としない。

新規事業への留意点

住民へのアンケートの中で、道路勾配・幅員に対する要望が見られた。コスト縮減を考慮しつつ、安全で円滑に通行のできる路線選定及び設計に留意する。

⑬

